

一般質問

犯罪の未然防止策として 防犯カメラの設置を

服部 富男 議員
(自民みらい / 三重郡選出)



問

犯罪を未然に防止するうえで、地域に交番や駐在所があることや、地域の方々から自ら警備をすることはとても有効であると考えますが、防犯カメラの設置についても重要ではないかと考えます。犯罪から県民の命を守るために、防犯カメラの設置についてしっかりと対応していただきたいと思いますが、知事の考えをお聞かせください。

答

県では、自主防犯活動や安全安心まちづくり出前講座などを開催し、地域の安全を守る環境づくりを推進しています。防犯カメラは犯罪の発生を抑止する有効な手段と考えられており、その設置・運用に関するガイドラインの策定や、他県等の補助制度についての調査研究を行っています。



○避難所耐震化への支援について
ほか

産後ケアの 充実を

東 豊 議員
(鷹山 / 尾鷲市北牟婁郡選出)



問

少子化対策として、妊娠・出産・産後・育児・子育ての流れの中で、切れ目のない支援体制の整備が計画されていますが、産後間もない時期は母親の体調が不安定で育児不安を抱えることがあり、産褥期の過ごし方がその後の育児生活を大きく左右します。母子保健事業の中で最も手薄となっている産院から退院した直後の産後ケアに関する県の取り組みについて伺います。



答

県では、産後ケア事業制度を今年度創設しました。今後は、事業の実施市町や協力医療機関等の拡大を働きかけるとともに、受入施設のない地域でも地域の実情に応じた実施方法を市町と検討し、どの地域でも産後ケアが受けられるよう市町と連携して体制の整備に努めていきたいと考えています。

○若者の流出防止策
ほか

防災対策に タイムラインの活用を

長田 隆尚 議員
(新政みえ / 亀山市選出)



問

県では、現在、「三重県新風水害対策行動計画(仮称)」の策定に向けた作業が進められています。この計画では、紀伊半島大水害で得られた教訓などを踏まえ、新たな「タイムライン」の考え方を活かした防災対策の導入について検討されていますが、今後、この「タイムライン」の活用についてどのように考えているのか、お伺いします。

答

台風など「発災までに」対して「公助」の機能を十分に発揮することができるよう、「三重県新風水害対策行動計画(仮称)」では、「タイムライン」の考え方を対策に取り入れていくこととしており、平成29年度までの「三重県版タイムライン(仮称)」の策定をめざしていきます。



○河川管理について
ほか

海女漁業の 振興を

山本 教和 議員
(自民みらい / 志摩市選出)



問

第5回海女サミットが10月に志摩市で開催され、日本国内と韓国から多くの海女さんに参加いただきました。海女漁の情報発信として成果はありましたが、現実には漁獲高の減少により、海女の数はさらに減っており、大変な状況です。今後も海女漁に関心を持ち、この漁法を継承していく必要があると思いますが、知事の思いと今後の取り組みについてお聞かせください。



答

サミットでは海女の生活や後継者問題について海女さんから話があり、改めて多方面の関係者の協力が必要と感じたところです。県では、海女漁の国重要無形民俗文化財指定に向けて国に働きかけるとともに、海女漁を途絶えさせないために海女漁業の振興や海女自体のPRを市と連携して進めていきます。

○地方創生について
ほか

文中の傍線部分については、4~5ページに用語解説を掲載しています。

※会派名は、その当時の会派名を記載しています。